

気 象 概 況

(1) 気象経過

7月末以来、北海道は亜熱帯高気圧に覆われて、蒸し暑い日が続いていた。3日午後にはサハリン南部を通過した低気圧から南西に延びる寒冷前線は、3日昼すぎから夜半にかけて北海道北部を南下し、その後、この前線は4日夕方まで北海道中央部を北東から南西に横切って停滞した（第1図と気象写真参照）。

前線の南下に伴って、雨は3日昼すぎに宗谷管内から降り始め、夜半前には留萌、上川、空知の各管内の北部一帯で50～100^{ミリ}の降雨があった。その後、前線は3日夜半から4日の日中いっぱい停滞し、この前線に沿って高温多湿な南風が吹き込んだため、降雨は宗谷、日高管内を除く西部一帯と網走管内北部に広がった。この間、上川管内北部から網走管内雄武町にかけて、1時間10～25^{ミリ}の強い雨が4日昼前まで降り続き、3日夜半からの降水量も100～120^{ミリ}となった。一方、中空知、南空知から千歳・苫小牧方面にかけての一帯は3日夜半から4日19時ころにかけて1時間15～35^{ミリ}の強い雨が降り続き、この20時間の降水量も150～260^{ミリ}（渡島管内では60～80^{ミリ}）に達し、今回の大雨の前半部を形成した。

しかし、その後4日夜半前の4～5時間は、北海道南東沖の高気圧の強まりで、前線は一時的に西に移動させられた。このため、それまで南空知を中心に降っていた強い雨も石狩管内から胆振中部に移動し、中空知、南空知の大雨は小康状態となった。この間の石狩管内から胆振中部の雨量は40～90^{ミリ}で、登別山間部では20～21時の1時間に52^{ミリ}の強い雨が観測された。

しかし、上空に強い寒気を伴った気圧の谷が4日から5日にかけてゆっくり沿海州に南下して来たため、5日日中には第2図にみられるように、北海道西岸に低気圧が発生し、その中心から温暖前線が北海道北部を横切って東に、また寒冷前線が南東方向に延びて、日高地方を横切って南に延びる状態となった。

一方、関東の南東海上を北上して来た台風第12号は、その前方800^{キロ}の外縁部に雨雲を伴っていた。この雨雲が4日夜半北海道に流入して、前線の雨雲と合流したため（気象写真参照）、以後5日夜半にかけての約22時間、各地で再び強い雨となり、今回の大雨の後半部を形成した。

この間、寒冷前線の後面に入った渡島半島では雨はやんだが、北海道の西部から北部一帯では1時間10～20^{ミリ}の雨が断続し、降水量もこの22時間で120～180^{ミリ}に達した。また日高管内南部から十勝管内西部、北部、阿寒山間部及び斜里町宇登呂で1時間10～30^{ミリ}の強い雨となり、これら地域の降水量もわずか1昼夜未満で200～300^{ミリ}の大雨となった。なかでも日高管内では著しい強雨が頻発した。すなわち、日高門別では5日4時～10時の6時間に207^{ミリ}の大量の降雨となり、浦河町中杵臼では13時～14時の1時間に62^{ミリ}（13～15時の2時間で97^{ミリ}）、静内では10時～11時の1時間に46^{ミリ}の

強雨があった。

5日朝、台風が銚子の東方350㏎の海上に北上して来るに及んで、北海道太平洋側の海岸部では南東の風が10～15㏎毎秒と強まって、最大瞬間風速も釧路、浦河で秒速24㏎以上となった。しかし、この台風は三陸沖を北上中、中心示度も5日15時に一時的に975㏎になったが、その前後は980㏎で経過したため、風も中心の東側の海上で20～25㏎毎秒と強かったほかは15㏎毎秒前後と比較的弱かった。6日3時、釧路南沖で温帯性低気圧に変わり、根釧原野を横切って、6日9時にはオホーツク海南部に抜けた。このため台風接近時の強風は、最大瞬間風速も根室で23.8㏎毎秒となったのみで、一般には13～18㏎毎秒にとどまっている。この低気圧は、オホーツク海に抜けるに及んで、急速に発達し、6日正午前には北部から西部の海岸地方で9～13㏎毎秒、最大瞬間風速で19～20㏎毎秒の西よりの強風となった。

台風の北上に伴って、北海道の東部一帯では5日夜半から6日朝にかけて1時間10～20㏎の雨が降り、この間の降水量も一般には40～80㏎となった。特に斜里町宇登呂付近は4日夜半から6日明け方にかけて1時間20～60㏎の強い雨となり、5日22時から6日4時までの6時間の降水量は207㏎となった。

その後、6日昼ころまでは留萌管内から石狩管内の日本海側海岸部で1時間5～10㏎の降雨があったが、昼すぎには各地とも天気は回復して、4日間にわたる大雨は終息した。

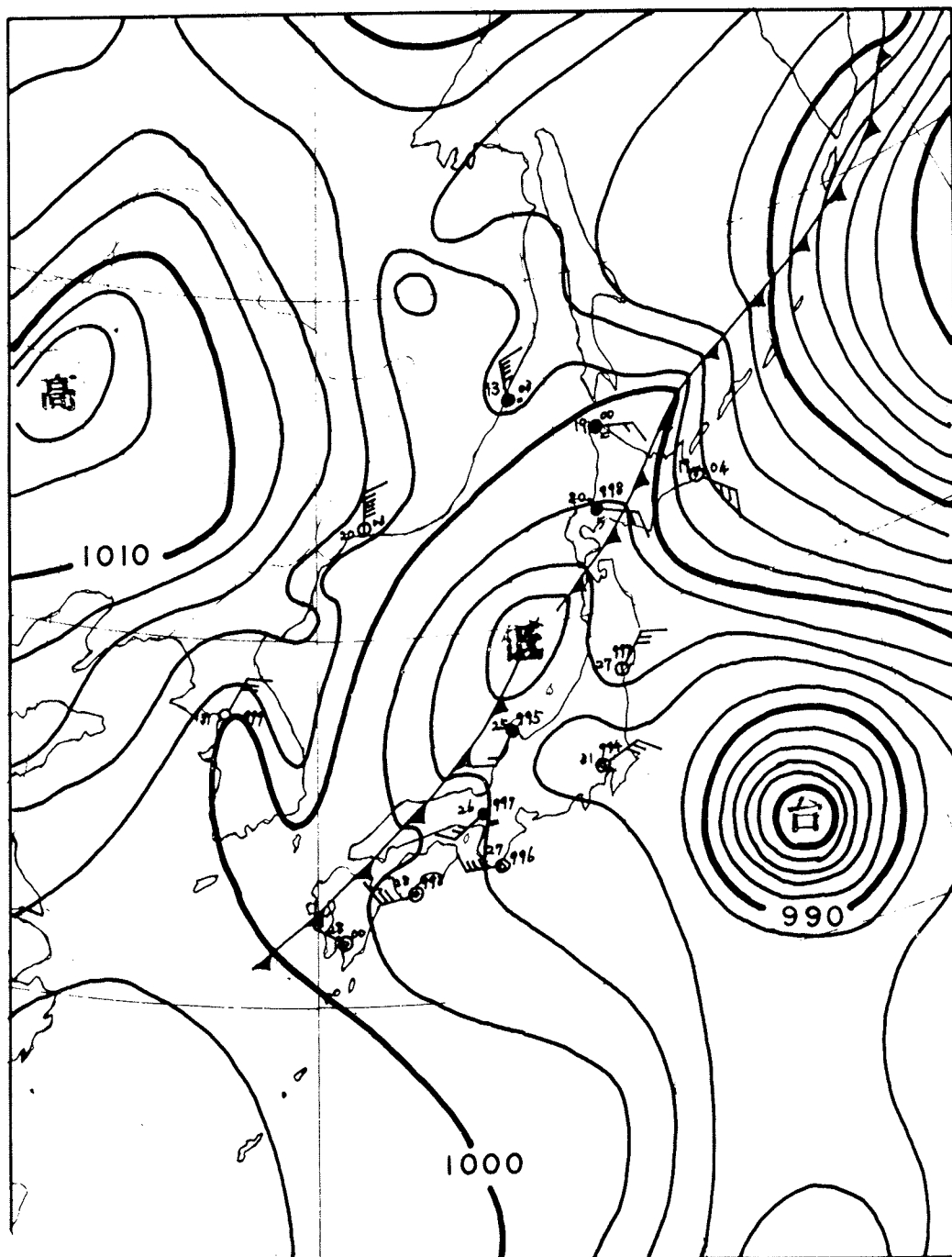
(2) 今回の大雨の特徴

ア、第7図は今回の大雨の総雨量分布図である。これによると、渡島半島、網走、釧路、根室の各管内の一部で100㏎以下の地域がみられるほかは、広く100～300㏎となっている。多雨域は、南空知を中心とする北海道西部一帯、十勝西部から日高にかけてのもの、阿寒山間部、斜里町宇登呂付近に大別される。

イ、今回の大雨は、二つの原因が連続して出現したため、4日間の長期にわたって豪雨が続いたものである。前半の3日、4日の雨（第3図、第4図）は、寒冷前線の南下、停滞によるもので、上川管内北部から南にかけての北海道西部一帯で150～260㏎となっている。後半の5日、6日の雨（第5図、第6図）は台風第12号による前線の再活発化と台風から変わった低気圧の北上によるもので、北海道の西部一帯で120～180㏎、日高から北海道東部で200～300㏎（宇登呂は425㏎）となっている。

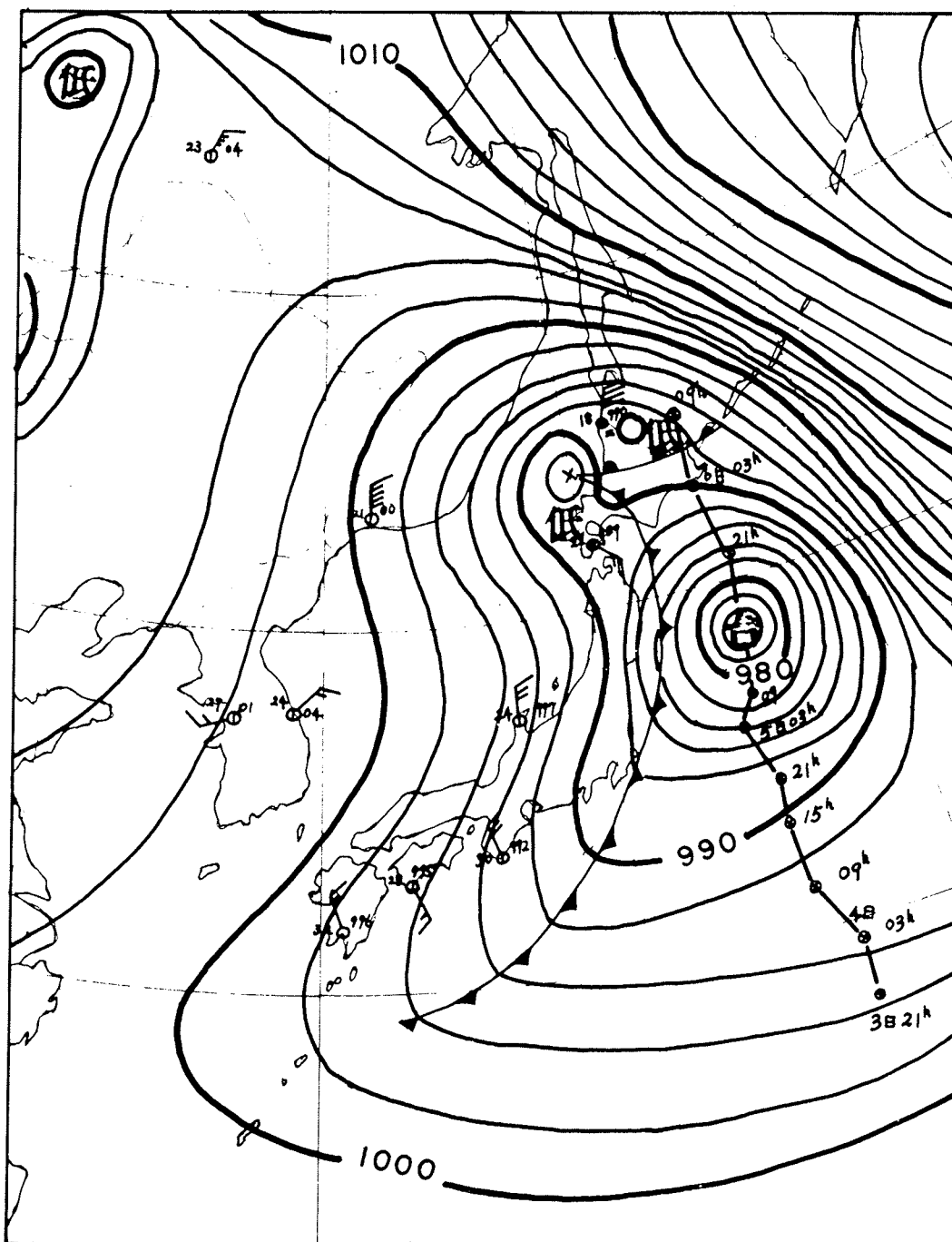
日降水量表では、4日の札幌170.0ミリ、岩見沢262.0ミリはともに8月中の日降水量としては官署開設以来の記録となった。

ウ、今回の大雨は広範囲に一様に降ったことが特長として挙げられる。特に石狩川集水領域はほぼ全域で250ミリ以上となっており、本流下流域の支流地帯で350～400ミリの大雨となった。

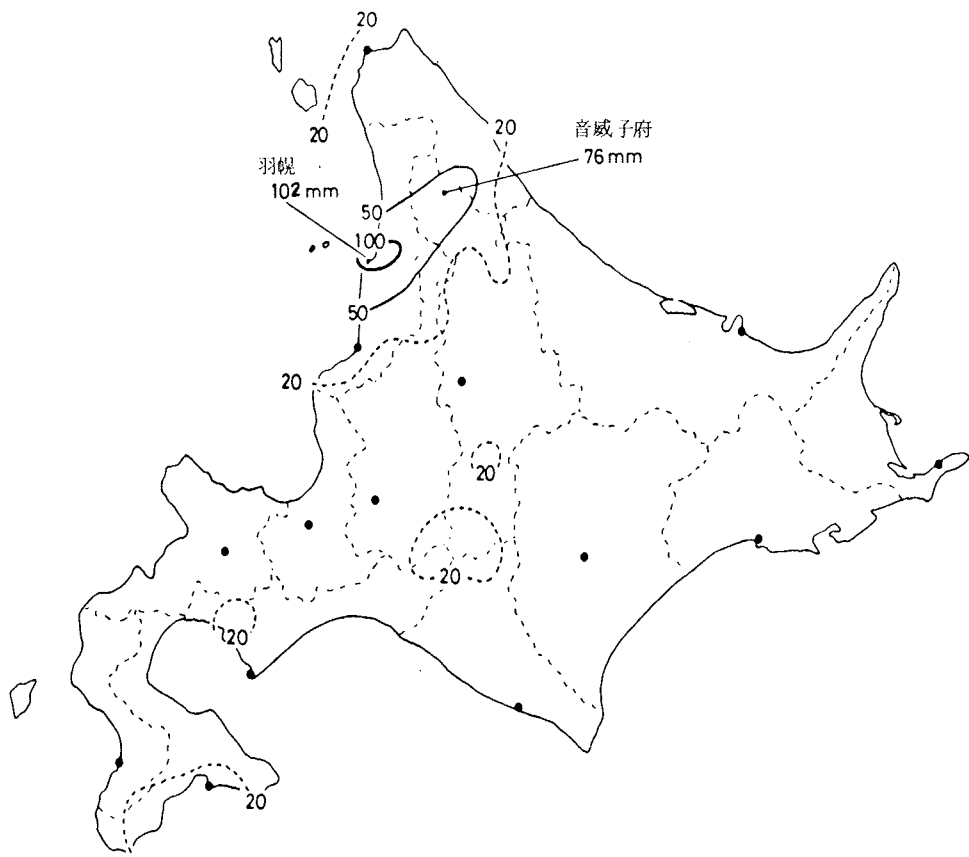


第1図 昭和56年8月4日15時地上天気図

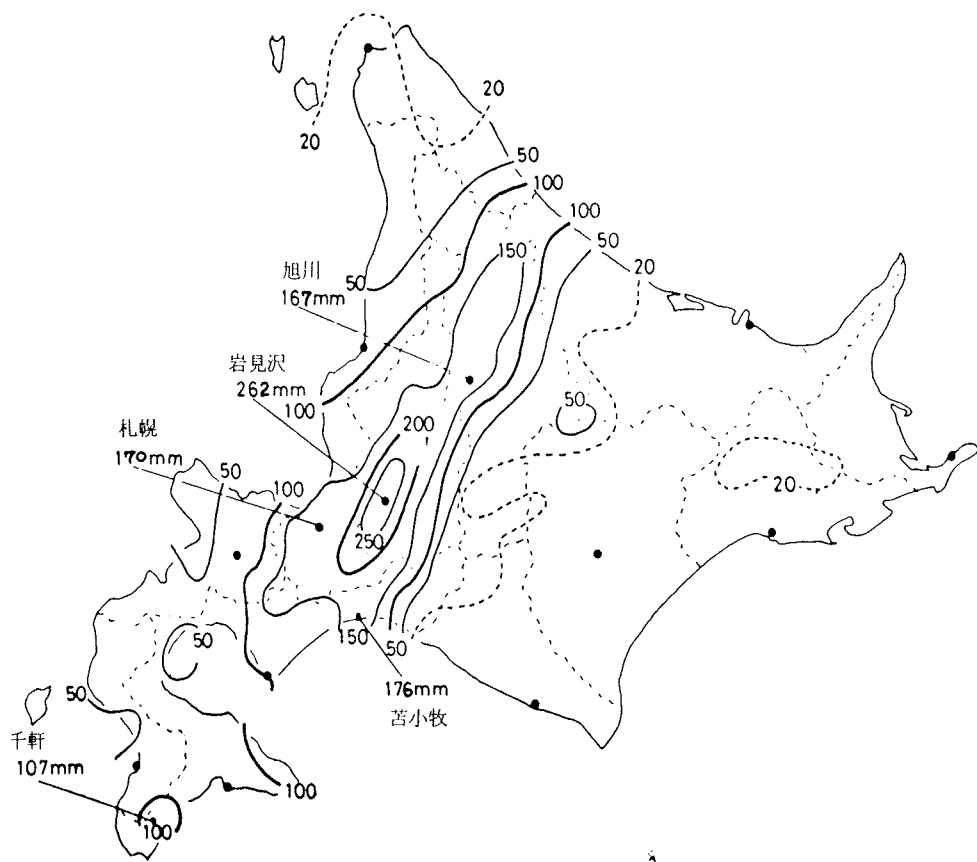
エ、しかし、日高管内の各個所、登別山間部、斜里町宇登呂などでは1時間40～60^{ミリ}の著しい強雨が局地的に集中して降り、これらの地帯でがけ崩れが多発した。特に日高門別と宇登呂は6時間に200^{ミリ}以上となっている。



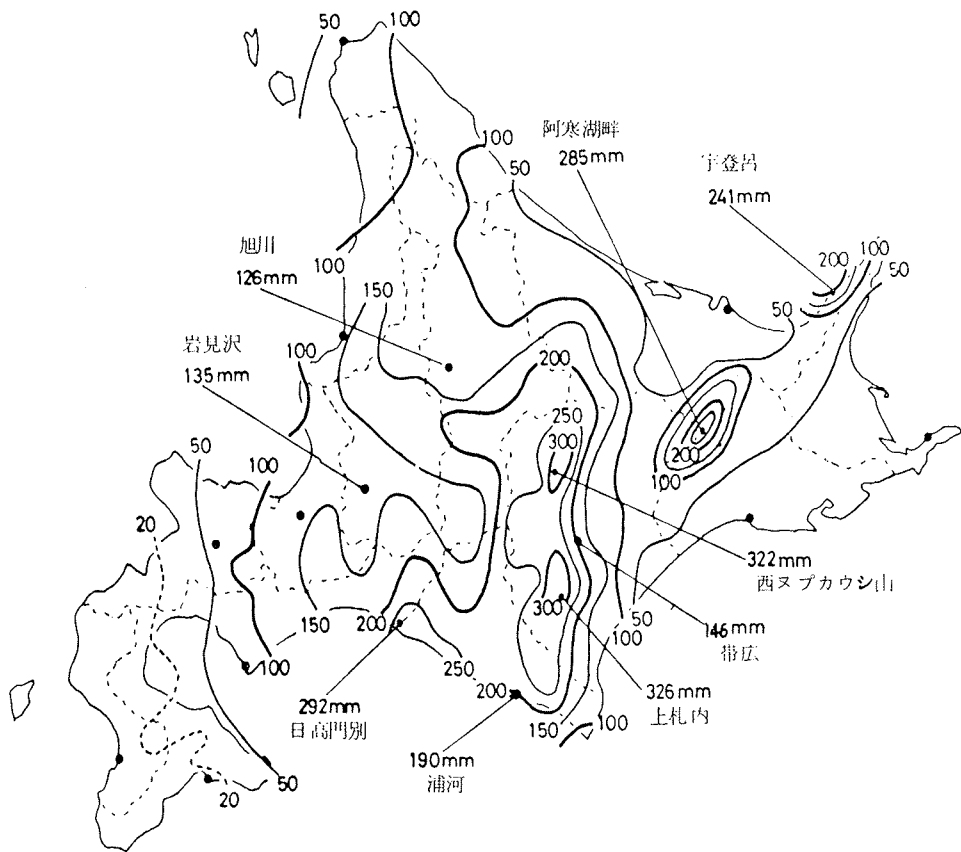
第2図 昭和56年8月5日15時地上天気図と台風経路



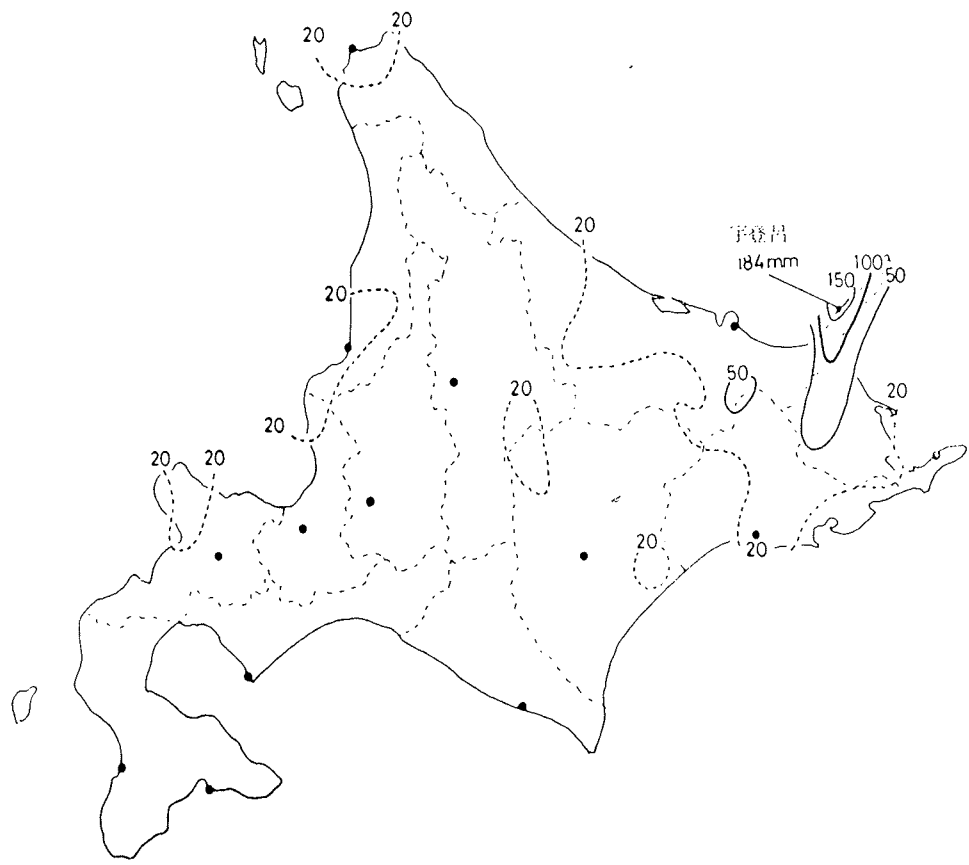
第 3 図 昭和56年 8 月 3 日の日降水量分布図



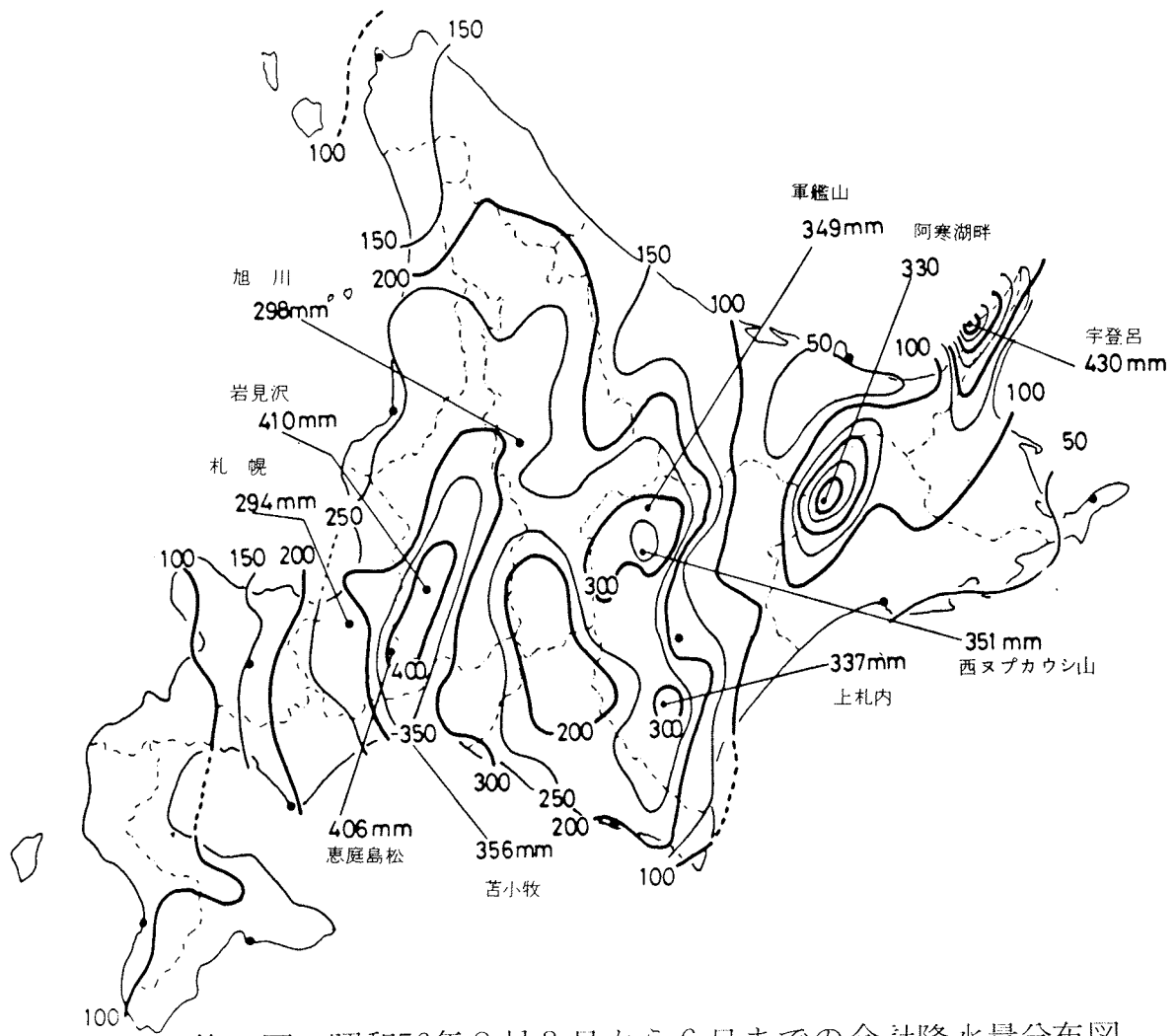
第 4 図 昭和56年 8 月 4 日の日降水量分布図



第 5 図 昭和56年 8 月 5 日の日降水量分布図



第 6 図 昭和56年 8 月 6 日の日降水量分布図



第7図 昭和56年8月3日から6日までの合計降水量分布図

表一 昭和56年8月豪雨観測所別総降水量

観測所名 (普通)	総降水量 ミリ	観測所名 (テレミーター)	総降水量 ミリ	観測所名 (気象庁ロボット)	総降水量 ミリ
伏見	305.0	日勝	278.0	軍艦山	349.0
芽室	291.9	伏見	300.0	佐幌岳	303.0
士幌	184.4	上札内	306.0	三角山	250.0
中士幌	194.0	第二大川橋	182.0	西ヌプカウシ山	351.0
音更	188.0	士幌	161.0	殖産高地	75.0
第二大川橋	181.5	中里	195.0	幌安山	113.0
美川	171.5	オンネト	315.0	ヒョウタン沢	293.0
茂岩	116.2	本別	70.0	三国山	297.0
利別	118.5	池田	131.0	帯広岳	229.0
チエトイ	77.0	茂岩	76.0	広尾	157.0
ニペソツ	354.0	帯広	156.0	上札内	337.0
ユートムラウシ	213.1	鹿追	299.0	糠平	324.0
芽登温泉	154.0	上清水	308.0	帯広	162.0
		札内川上流	197.0		
		戸蔭別	260.0		
		大川	178.0		
		新朝日	309.0		
		長流枝内	212.0		
		岩内仙峡	254.0		

昭和56年 8 月 4 日から同年 8 月 6 日までの降水資料

(鹿追・三角山・西ヌブカウシ山)

時別降水量・日降水量

(単位：ミリメートル)

観測所 時 間	鹿 追			三 角 山			西ヌブカウシ山		
	8月4日	8月5日	8月6日	8月4日	8月5日	8月6日	8月4日	8月5日	8月6日
0 h—1 h	—	15	7	—	8	9	—	16	8
1—2	—	11	6	—	10	6	2	11	7
2—3	—	21	2	—	10	3	—	16	4
3—4	—	26	1	—	16	1	—	20	—
4—5	—	16	—	2	12	—	—	26	—
5—6	—	13	—	—	9	—	1	18	—
6—7	—	13	—	—	5	—	—	10	—
7—8	—	11	—	—	4	—	—	8	—
8—9	—	4	—	—	3	1	—	5	—
9—10	—	10	—	—	4	—	—	8	—
10—11	—	11	—	1	15	—	—	17	—
11—12	—	11	—	—	13	—	—	31	—
12—13	—	12	—	—	12	—	—	15	—
13—14	—	18	—	—	15	—	—	20	—
14—15	—	16	—	—	21	—	—	34	—
15—16	—	15	—	—	12	—	—	23	—
16—17	—	8	—	—	10	—	—	8	—
17—18	—	7	—	—	6	—	—	7	—
18—19	—	6	—	—	5	—	—	8	—
19—20	—	6	—	—	5	—	—	7	—
20—21	—	4	—	—	6	—	—	3	—
21—22	—	6	—	1	4	—	2	2	—
22—23	5	11	—	4	14	—	2	5	—
23—24	2	1	—	1	3	—	3	4	—
日 降 水 量	7	272	16	9	222	20	10	322	19

注) 降水量欄中の—は、降水なし (1 ミリメートル未満の降水量を含む) を表す。